



涌小通信

知内町立涌元小学校
～重点教育目標～
主体的・協働的に学び、
認め・磨き・高め合う子
平成30年 2月28日発行

決めつけないこと、あきらめないことの大切さ

～ケガや挫折からの復活を目の当たりにして～

校長 三上 幸喜

2月20日（火）の学習参観、全体懇談会、学級懇談会におきましては、多数ご来校頂き誠にありがとうございました。子どもたちの学習に向かう一生懸命な姿を参観していただくことが出来たと思います。

全体懇談会におきましては、学校評価についてご報告させていただきました。結果を真摯に受け止めるとともに、3学期から改善に取り組んでおります。平成29年度も残すところあと僅かとなりましたが、職員一同、子どもたちの笑顔のために一生懸命取り組んで参ります。

さて、テレビでは韓国で開催されている平昌オリンピックの日本選手の活躍が連日報道されています。（いました。）選手の活躍とともに、これまでの道のりや努力、挑戦などが報道されております。

2月の朝礼の中でも、子どもたちに平昌オリンピックについての話をいたしました。以下に紹介します。

◆朝礼（2/5）での話

《写真提示》

さて、今日から何が始まるか知っていますか。

札幌で「雪祭り」が始まりました。では、9日からは何が始まるか知っていますか。韓国で「平昌オリンピック」が開かれます。冬のオリンピックも夏と同じように4年に1度のオリンピックです。さて、どんな選手が出場するか知っていますか。



葛西選手

高梨選手

小平選手

高木 (美) 選手

校長先生はスキージャンプの葛西紀明選手について、少しお話しします。

葛西選手は今回の平昌オリンピックで、なんと8度目のオリンピックになります。葛西選手は19歳から日本代表になり、今回の8回目のオリンピックは45歳での挑戦です。皆さんのお父さんやお母さんよりも年上ではないでしょうか。これまでの7度のオリンピックがすべて順調だったかというところではありません。オリンピックの活躍がテレビやインターネットでたくさん放送されると思いますが、勝った負けただけでなく、4年に1度の一瞬のために、1461日間練習に取り組む頑張る選手にぜひ注目して欲しいと思います。調子があがらず苦しんだ選手もいます。けがをしたため治療に専念し、オリンピックでの復活を目指した選手もいます。優勝した選手に多くの注目が集まりますが、このオリンピックのために、毎日毎日努力し続けた選手にぜひ注目してください。

最後に、葛西選手が話した言葉を紹介합니다。「チャンスは必ず巡ってくる。」です。みなさんも、そのチャンスが巡ってきた時に、しっかりとチャンスをつかみ取ることができるように努力していきましょう。

9日から始まった平昌オリンピックでは冬五輪過去最高のメダルを獲得しました。日本選手の素晴らしい活躍を目の当たりにするとともに、4年間1461日間目標に向かって努力し続けることの大切さを改めて実感しました。

また、肉体の限界に挑戦し続ける葛西選手やケガから復活した羽生選手や平野選手、挫折から這い上がった高梨選手や高木姉妹の努力から「無理だよ、無駄だよ、出来ないよ。」と決めつけないことやあきらめないことの大切さを教えてもらったような気がしました。

4年に1度の素晴らしいスポーツの祭典ですので、ぜひ、ご家族でも、食事をとりながらやお風呂に入りながらでも、あきらめない心や巡り来るであろうチャンスをしっかりとつかみ取る（ものにする）ための作戦について お子さんと話してみたいと思います。

